

# 消防かわら版

平成29年4月

春の火災予防運動

統一防火標語

## 消しましょう その火 その時 その場所で

春の火災予防運動 4月20日～30日

「春の火災予防運動」は各家庭で火災を発生させないよう注意し、市民の皆様が一層の火災予防意識を高めるようお願いして、ご家庭や職場で火災に対して備えていただくことを目的として行っています。

昨年十二月に新潟県糸魚川市大町で発生した大規模な火災は、火元が強風に煽られ約一四〇棟の建物に延焼し、糸魚川市は付近の約三六〇世帯に避難勧告を出して、鎮火まで三十時間ほどかかりました。

出火の原因は鍋の空焚きによるもので不注意から大きな災害になりました。

ちょっとした不注意から火災は発生し、あなたや隣人の財産、そして命までも奪っていきます。

そうならないためにも日頃から防火・防災の意識を強く持ち災害に立ち向かいましょう。



### 住宅用火災警報器は

## 十年たったら

### 交換しましょう。

住宅用火災警報器（以下「住警器」という）の新築物件への設置が全国的に義務付けられてから十年が過ぎました。

住警器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感じしなくなることがあるため注意が必要です。

### まずは作動確認！



まずは作動確認を行い、音を聞いてみましょう。

住警器に付いている「ボタンを押す」または「ひもを引き」ます。

正常な場合は正常をお知らせする「メッセージ」または「警報音」が鳴ります。

音が鳴らない場合は電池がきちんとセットされているかご確認ください。

それでも鳴らない場合は電池切れか本体故障の可能性がります。

その場合は取扱い説明書をご覧ください。

定期的に家族で火災時の警報音を確認しましょう。

### 設置時期を調べるには？

住警器を設置した時に記入した設置年月日、または本体に記載されている製造年をご確認ください。

### 林野火災にご注意を！



春先に林野火災が多くなるのは枯葉が地上に積り、下草も枯れているうえ、降水量が少なく、空気も乾燥し季節風が吹くなど、林野火災が発生しやすい気象条件となるからです。

そして林野火災のほとんどは、人間の不注意によって起きています。

森林は一旦火災などで失われると、その大切な機能が回復するまでには何十年もの年月と多大なコストを要するようになります。

山に入る際はタバコのポイ捨てはもちろん、強風、乾燥注意報が発表されている時は火気の使用は控えましょう。



火事と救急は119番 火災等の情報案内は88-1515番

登別市消防本部・登別市消防署

85-9611

85-2551

本誌に関するお問い合わせ・ご感想は登別市消防署警備グループ(85-2551)までお願いします

STOP!コンロ火災

ガスコンロが原因の火災は

年間三千件発生!

そのほとんどが「調理中のうっかりミス」によるものだった!

ガスコンロは、私達の日常生活には欠かせないものですが、住宅火災の原因で毎年上位になっていきます。そのほとんどが、使用者の不注意によるものです。新年度を迎え、改めてガスコンロ火災事故防止について考えてみましょう。

今すぐチェック!!

我が家の 火災リスク チェックリスト

- 1 **調理中にその場を離れてしまったことがある。**  
調理中は決してその場を離れない! 離れる時は火を消して。
- 2 **コンロの近くに燃えやすい物が置いてある。**  
キッチンペーパーやふきんは、コンロの近くに置かない。
- 3 **火をつけたまま、コンロ奥のものを取ろうとした。**  
コンロの上や奥のものを取る時は火を消して。
- 4 **グリル庫内に汚れがたまっている。**  
グリルは定期的にお掃除をしましょう。

ガスコンロ周りの整理整頓忘れずに!

ガスコンロの油污れを掃除するのは大変ですが、これらを放置したまま使用していると油污れが過熱されて出火する危険性があります。ですから「グリル内はこまめに清掃」、「近くに燃えやすいものは置かない」、「コンロ下に新聞紙などの燃えやすいものは敷かない」。以上を守ってガスコンロ周りは整理整頓を忘れないようにしましょう。

気を付けて! 着衣着火にご注意を!

ガスコンロの炎が着ている衣服に燃え移ってしまう現象を「着衣着火」と呼びます。着衣着火は、大きな事故につながる可能性が高いため、ゆったりした服での調理を避け、防災製品等のアームカバーやエプロンをつけることで着衣着火事故を未然に防ぐことができます。

古いコンロは火災リスクに要注意 Siセンサーコンロとは?

Siセンサーコンロとは、うっかり過熱した際にセンサーが温度を感知、ガスの火を安全に止め事故リスクを下げるためのものです。ガスコンロ火災の原因で、もっとも多い「消し忘れ」による事故の防止が目的です。

Siセンサーコンロは「調理油過熱防止装置」「立ち消え安全装置」「消し忘れ消火機能」「早切れ防止機能」の4つの安全機能が標準搭載されています。

まだSiセンサーコンロを使用していないご家庭は、是非使用することを検討してみたいかがでしょうか。是非、安全装置が付いているからといってすべての火災を防ぐことはできません。火災を防ぐための意識を強く持ち続けることが防災の要諦です。



リコール情報について

製品等に何らかの欠陥や不具合があり、火災等の重大事故が発生する可能性があります。消費者が製品等を安全に使用できるための予防的措置として、事業者が回収、修理等を行うものについて、登別市では消費者への注意喚起等を含め、情報提供を登別市のホームページから行っていきます。

建物の増改築を

お考えの方へ



一般住宅を除く建築物の消防法令違反の大半は、建築確認申請外の増築や建築物同士の間隔工事によるものです。接工に工事の計画がある場合は必ず消火計画の相談を必ずお願いいたします。